

## 9. 柵

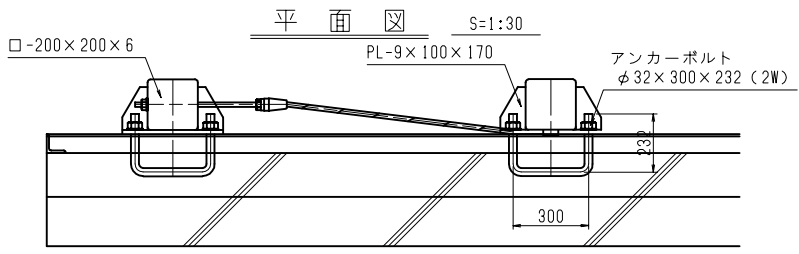




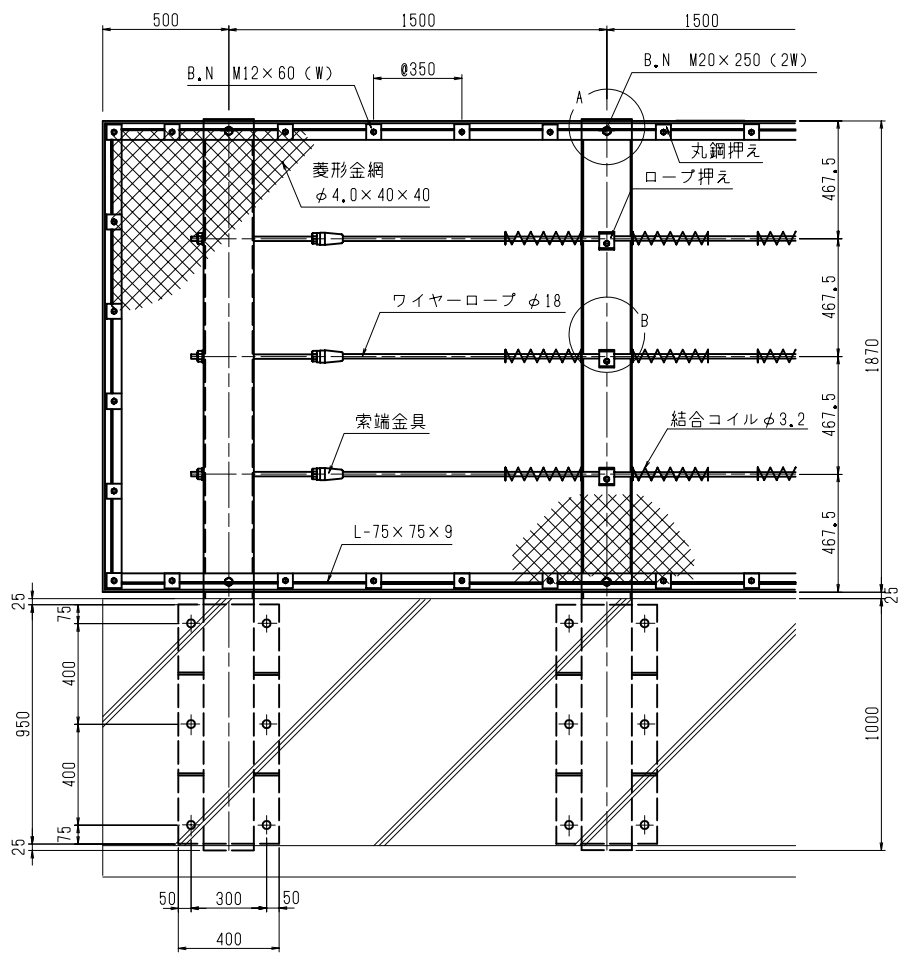


一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵
	名称	一般国道用落下物防止柵橋梁部(鉄道)

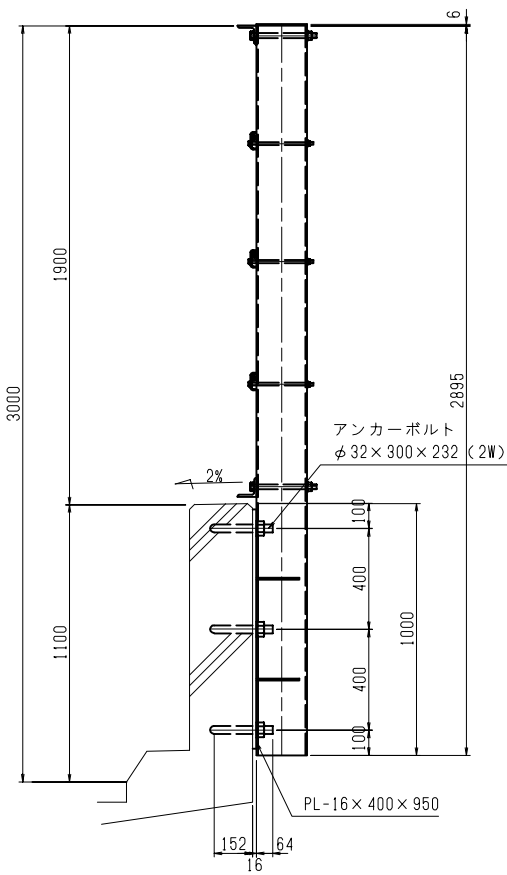
単位 mm



正面図 S=1:30



側面図 S=1:30

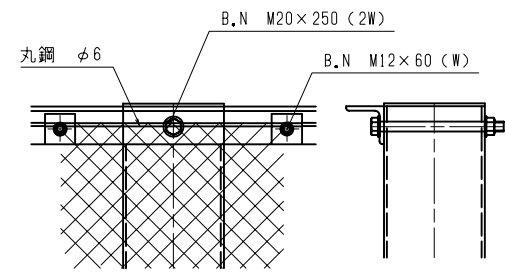


材料表

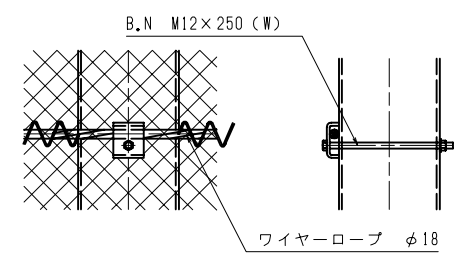
材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
ベースプレート	PL-400×16×950	SS400
胴縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
ワイヤーロープ	φ18 (3×76/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWW6S-7
結合コイル	φ3.2	SWR
アンカーボルト	φ32	SS400
ボルト・ナット	M20, M16, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
結合コイルはワイヤーロープと菱形金物の結合部に使用する。  
結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

A部詳細図 S=1:15



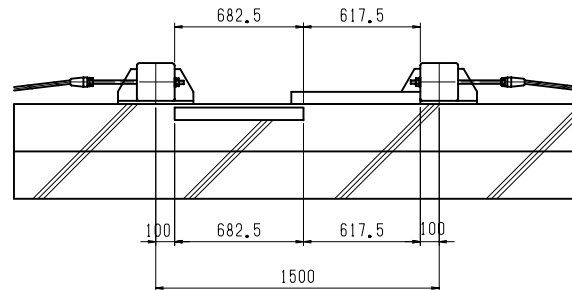
B部詳細図 S=1:15



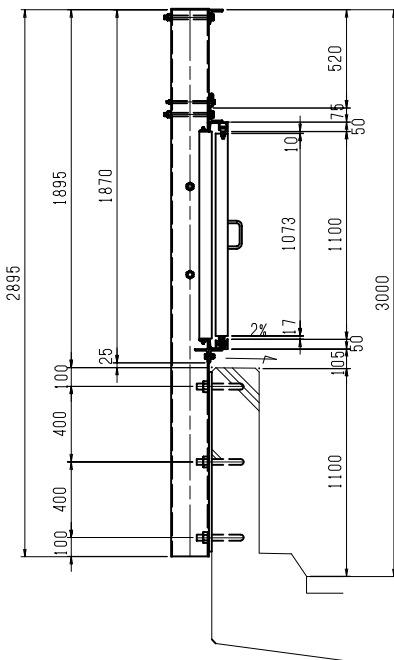
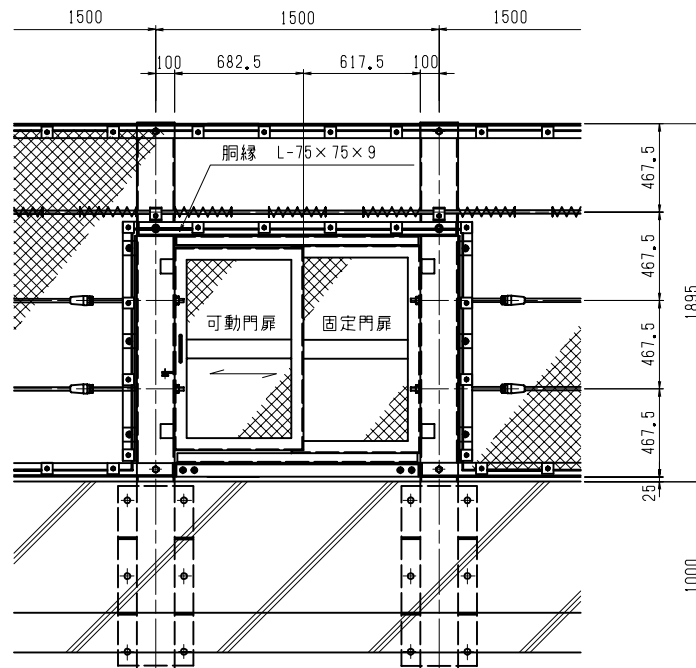
一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵	H22
	名称	一般国道用落下物防止柵橋梁部 - 扉部 (鉄道)	

単位 mm

平面図 S=1:40



正面図 S=1:40

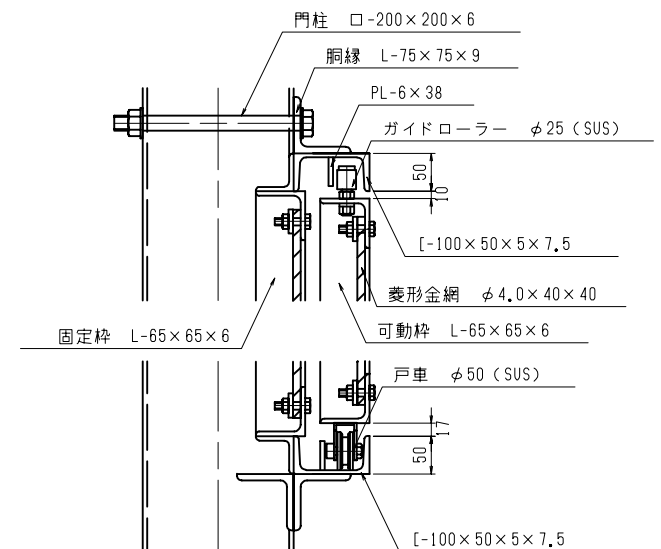


材料表

材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
ベースプレート	PL-400×16×950	SS400
胴縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-GS7
門扉枠	L-65×65×6	SS400
ガイドローラー	φ25	SUS304
戸車	φ50	SUS304
ワイヤーロープ	φ18 (3×76/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMGS-7
結合コイル	φ3.2	SWR
アンカーボルト	φ32	SS400
ボルト・ナット	M20, M16, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。

取付詳細図 S=1:10



一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵
	名称	一般国道用落下物防止柵橋梁部 (道路および民家等)

単位 mm

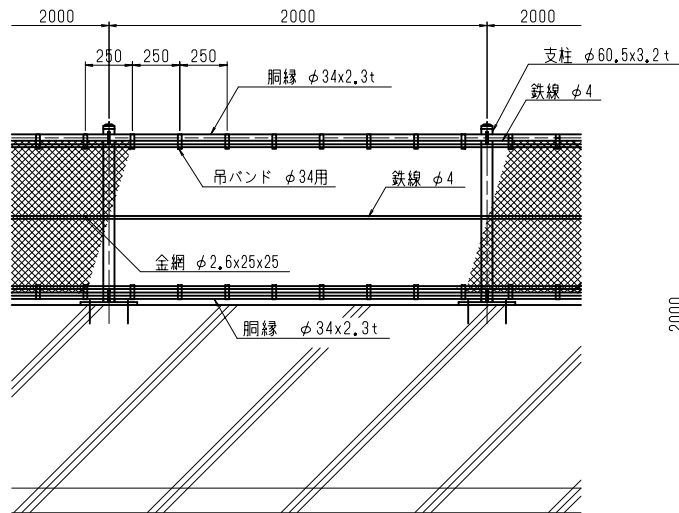
材 料 表

材 料	形 状	材 質
支 柱	φ60.5×3.2	STK400
ベースプレート	PL-9×180×300	SS400
胴 縁	φ34.0×2.3	STK400
菱 形 金 網	φ2.6×25×25	Z-6S7
鉄 線	φ4	SWMGS-7
吊 金 具	φ34用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR
アンカーボルト	M12	SS400

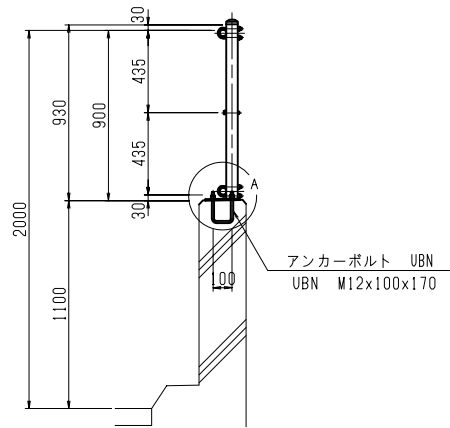
注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。  
アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

A部詳細

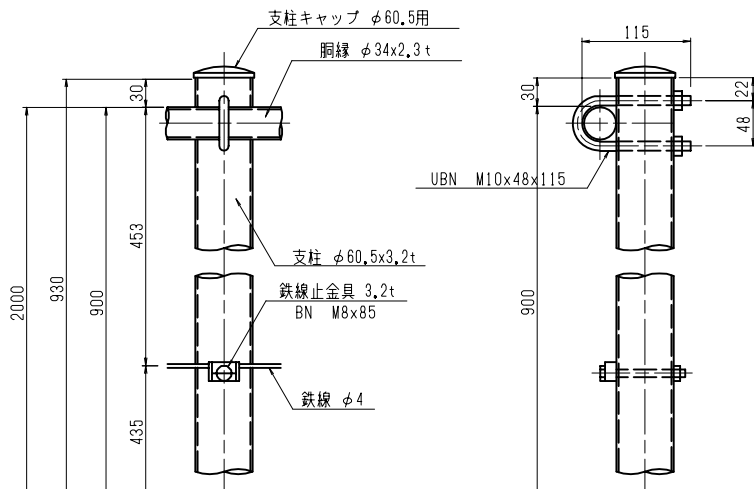
正 面 図



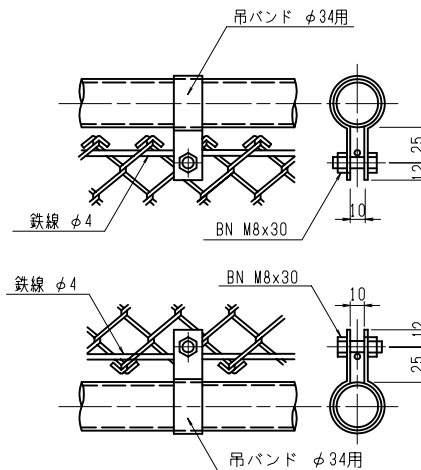
側 面 図



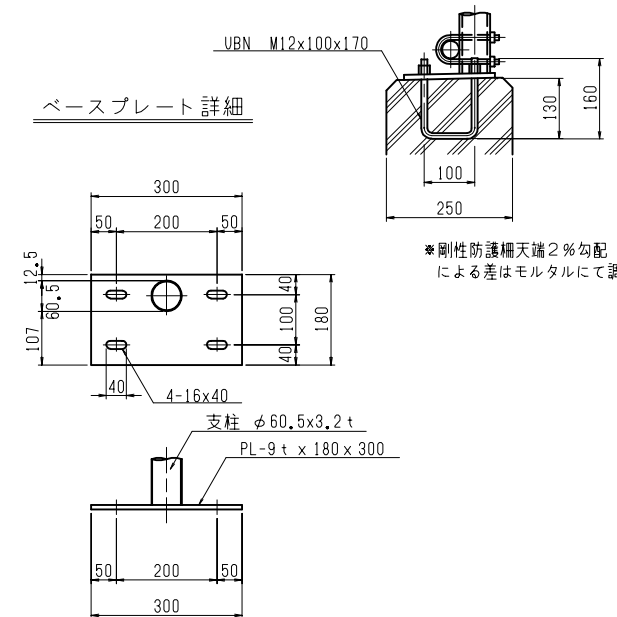
取付詳細図



金網取付詳細図



ベースプレート詳細

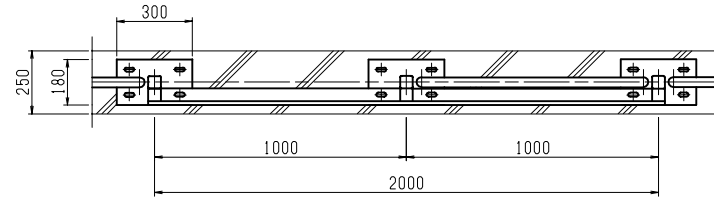


\*剛性防護柵天端2%勾配  
による差はモルタルにて調整の事。

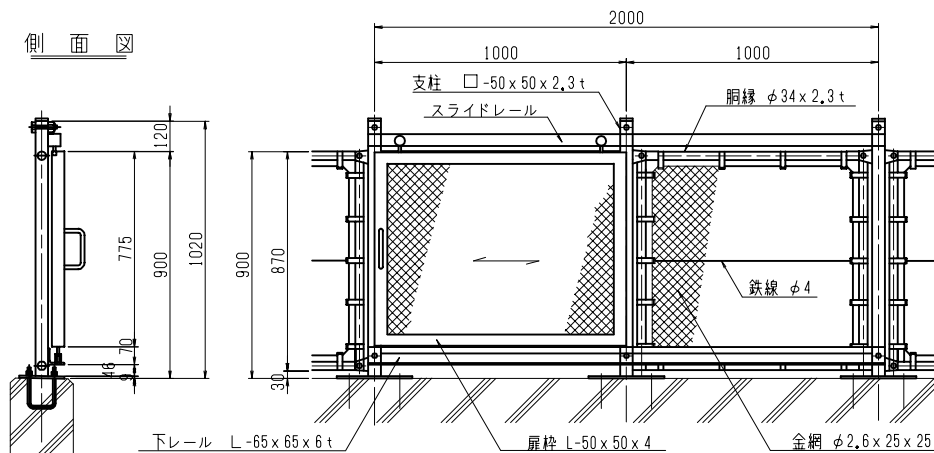
一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵
	名称	一般国道用落下物防止柵橋梁部 - 扉部 (道路および民家等)

単位 mm

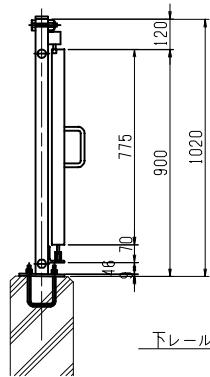
平面図



正面図

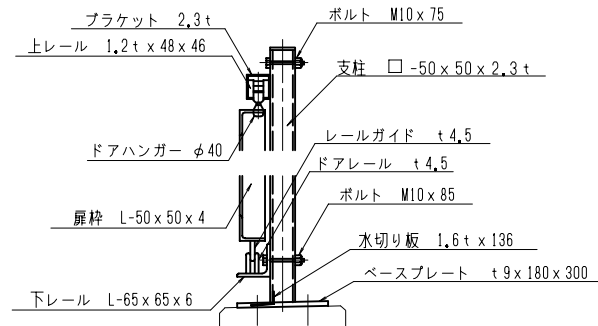
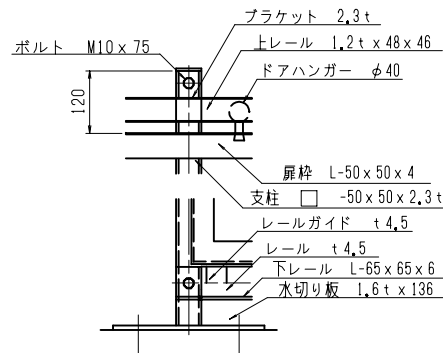


側面図

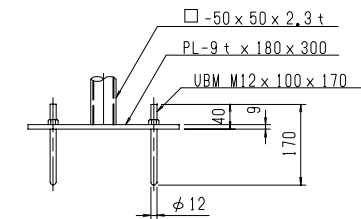
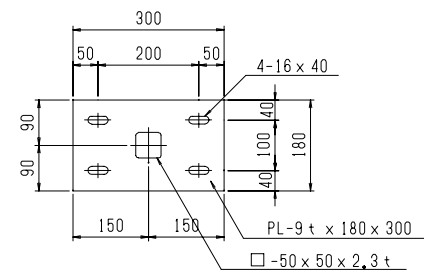


\*剛性防護柵天端2%勾配  
による差はモルタルにて調整の事。

取付詳細図



ベースプレート



材料表

材料	形状	材質
支柱	□-50×50×2,3	STKR400
ベースプレート	PL-9×180×300	SS400
菱形金網	φ2,6×25×25	Z-6S7
胴縁	φ34,0×2,3	STK400
門扉枠	L-50×50×4	SS400
上レール	PL-1,2×48×46	SUS304
下レール	L-65×65×6	SS400
アンカーボルト	M12	SS400
ボルトナット	M10	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。  
アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

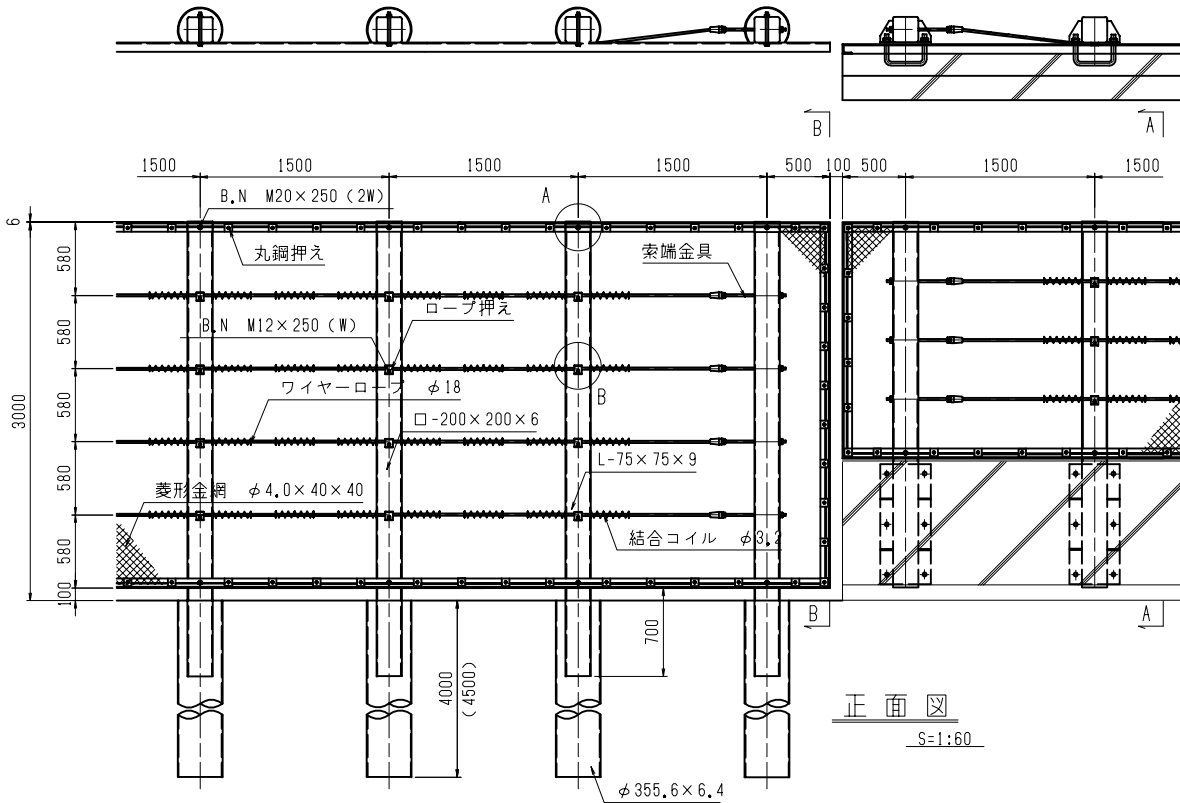


一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵	H22
	名称	一般国道用落下物防止柵土工部 1 (鉄道)	

単位 mm

平面図

S=1:60

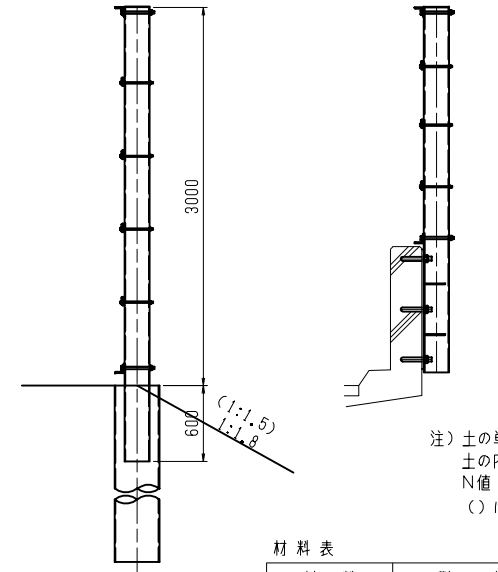


正面図

S=1:60

B - B  
S=1:60

A - A  
S=1:60



注) 土の単位重量 18kN/m<sup>3</sup>  
 土の内部摩擦角 25°  
 N値 10相当  
 ( ) は盛土勾配 1:1.5

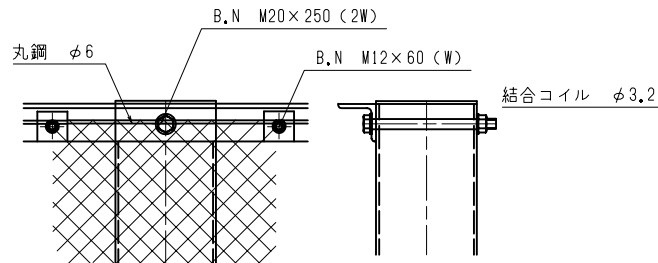
材料表

材 料	形 状	材 質
支 柱	$\square$ -200 $\times$ 200 $\times$ 6	STKR400
胴 縁	L-75 $\times$ 75 $\times$ 9	SS400
菱 形 金 網	$\phi$ 4 $\times$ 40 $\times$ 40	Z-GS7
ワイヤーロープ	$\phi$ 18 (3 $\times$ 76/0)	普通Zより
丸 鋼	$\phi$ 6	SWMGS-7
結 合 コ イ ル	$\phi$ 3.2	SWR
ボルト・ナット	M20, M12	SWR
鋼 管 杭	$\phi$ 355.6 $\times$ 6.4	STK400
スパイラル鉄筋	D10	SD295
コンクリート	$\sigma_{ck}$ = 210kg/cm <sup>2</sup>	

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
 めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
 「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。  
 結合コイルはワイヤーロープと菱形金物の結合部に使用する。  
 結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

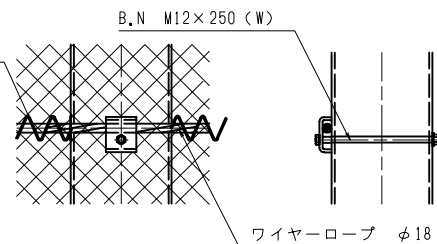
A部詳細図

S=1:15



B部詳細図

S=1:15

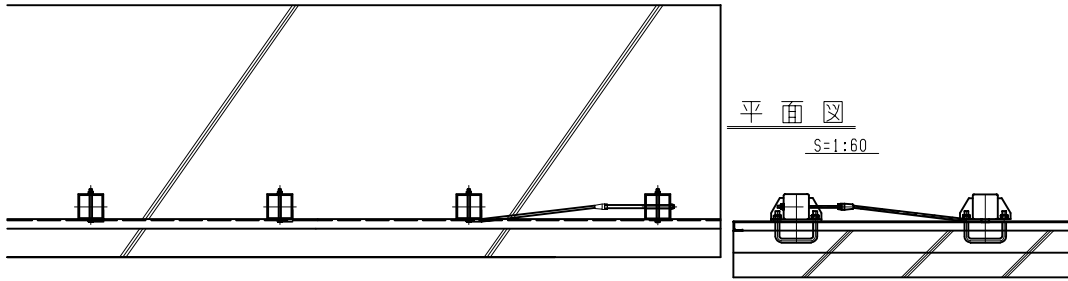


一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵	H22
	名称	一般国道用落下物防止柵土工部2 (鉄道)	

単位 mm

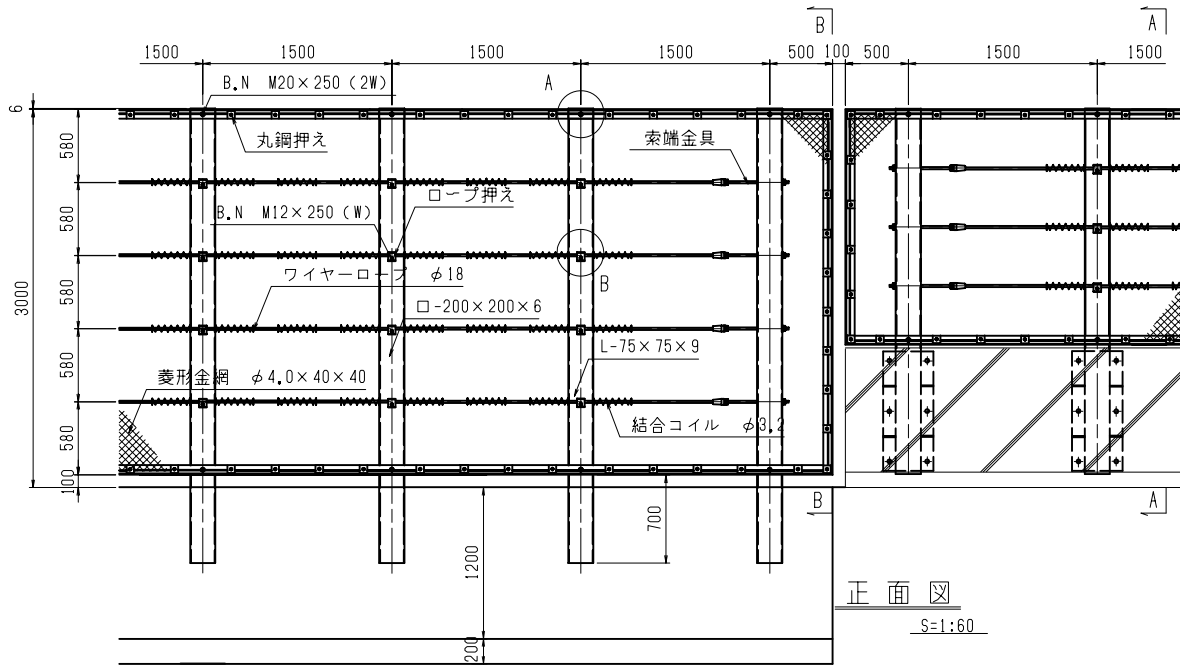
平面図

S=1:60



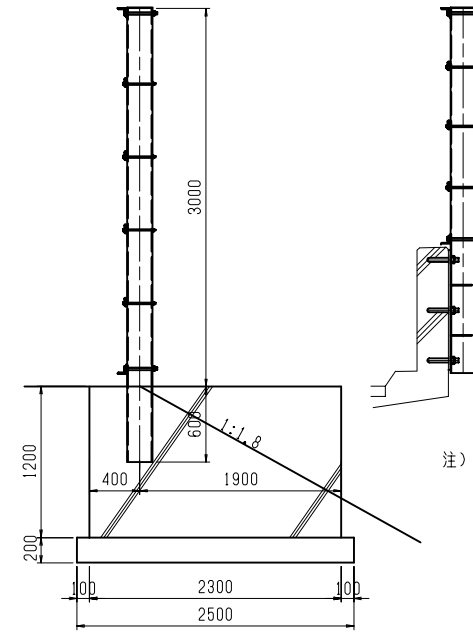
正面図

S=1:60



B - B  
S=1:60

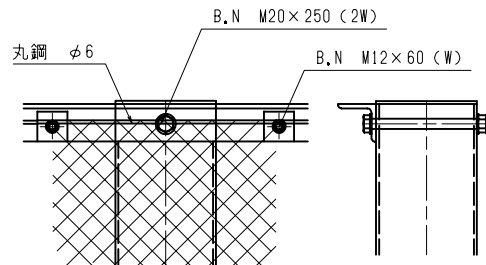
A - A  
S=1:60



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当

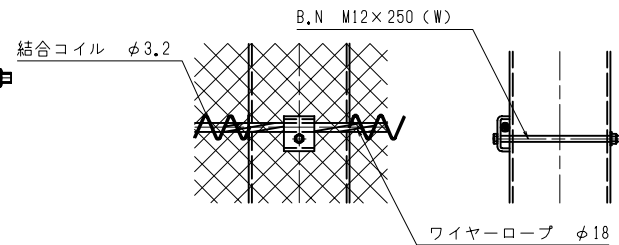
A部詳細図

S=1:15



B部詳細図

S=1:15



材料表

材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
胴縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
ワイヤーロープ	φ18 (3×7φ/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMS-7
結合コイル	φ3.2	SWR
ボルト・ナット	M20, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準視すること。  
結合コイルはワイヤーロープと菱形金物の結合部に使用する。  
結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵
	名称	一般国道用落下物防止柵土工部 1 (道路および民家等)

組立図

平面図

材料表

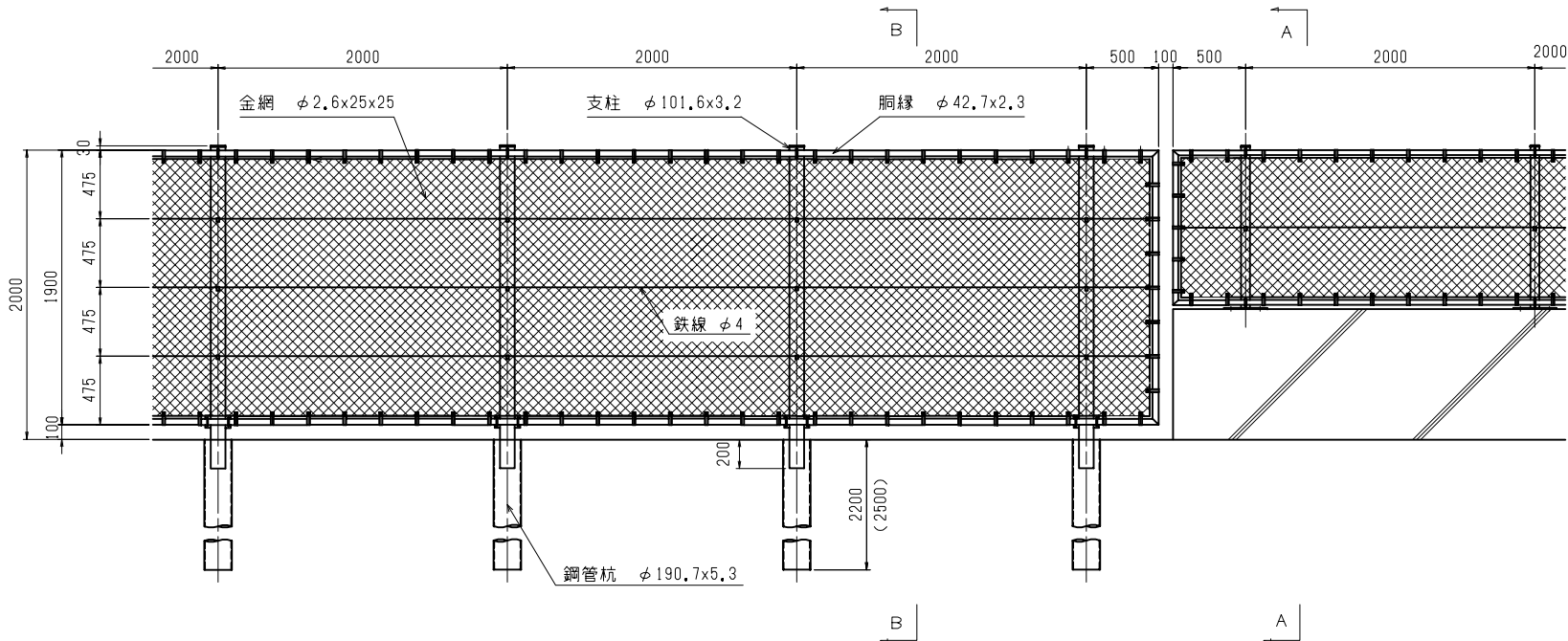
単位 mm

材 料	形 状	材 質
支 柱	φ101.6×3.2	STK400
胴 縁	φ42.7×2.3	STK400
菱 形 金 網	φ2.6×25×25	Z-GS7
鉄 線	φ4	SWMS-7
吊 金 具	φ42.7用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR
鋼 管 杭	φ190.7×5.3	STK400
スパイラル鉄筋	D10	SD295
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =210kg/cm <sup>2</sup>	

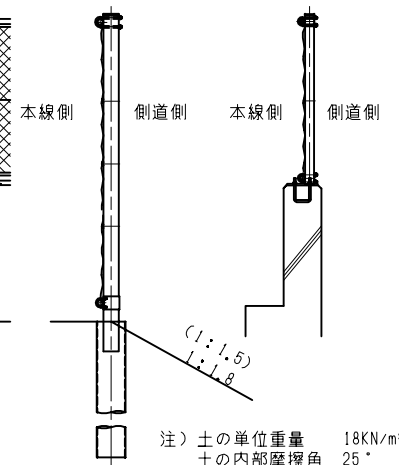


注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。

正面図



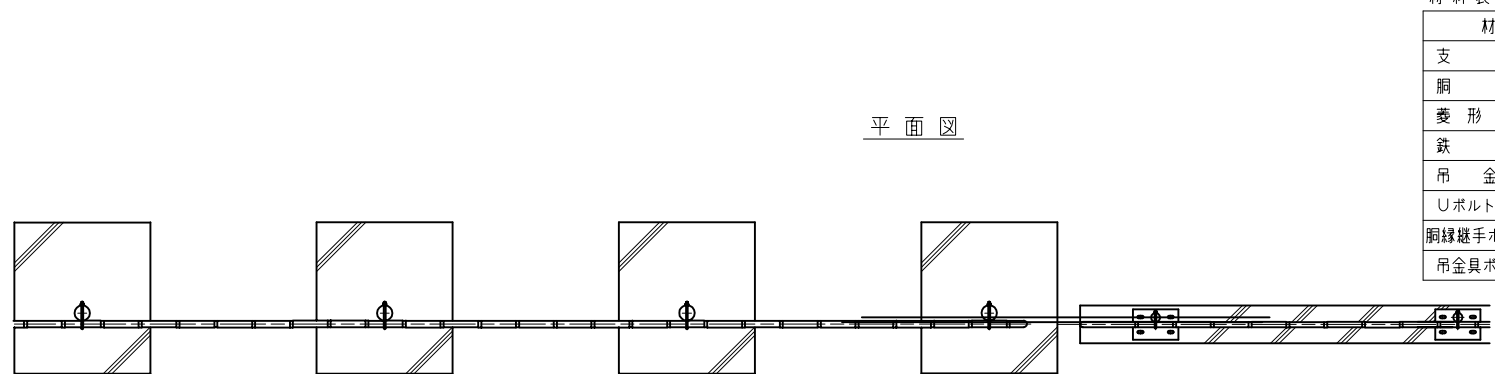
B - B A - A



注) 土の単位重量 18kN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当  
( ) は盛土勾配 1:1.5

一般国道	図面記号	柵 - 落下物防止柵	H22
	名称	一般国道用落下物防止柵土工部2 (道路および民家等)	

組立図



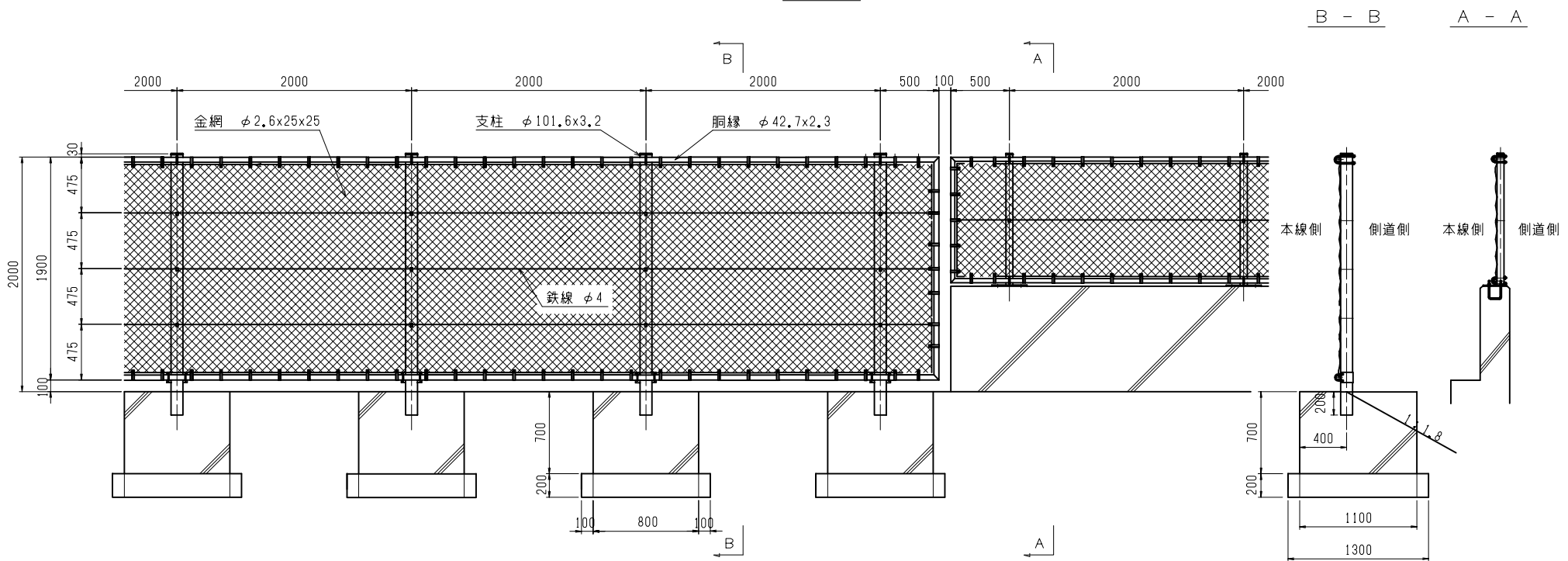
平面図

正面図

材料表 単位 mm

材料	形状	材質
支柱	φ101.6×3.2	STK400
胴縁	φ42.7×2.3	STK400
菱形金網	φ2.6×25×25	Z-GS7
鉄線	φ4	SWMS-7
吊金具	φ42.7用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。

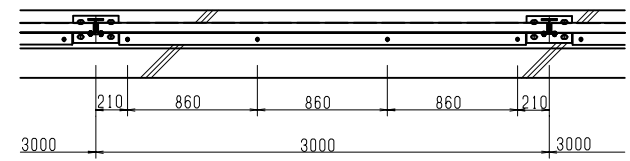


注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当

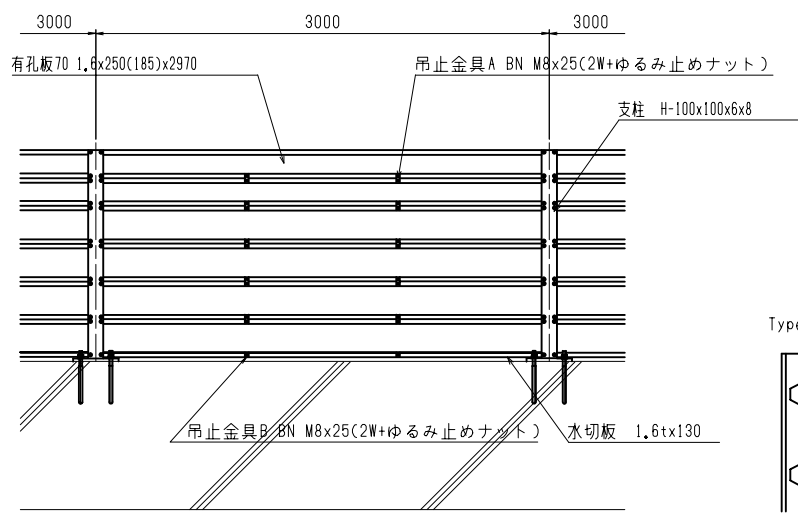
一般国道	図面記号	柵 - 飛雪防止柵	H22
	名称	一般国道用飛雪防止柵 (橋梁部)	

単位 mm

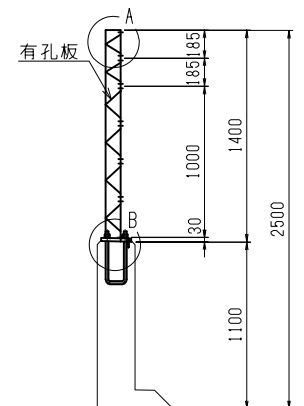
平面図 S=1:50



正面図 S=1:50



側面図

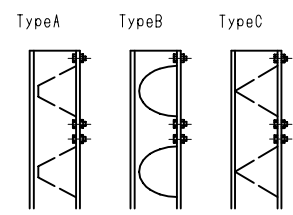


材料表

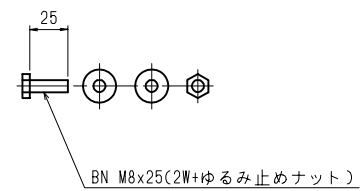
材料	形状	材質
支柱	H-100×100×6×8	SS400
ベースプレート	PL-22×180×300	SS400
有孔板 (70)	PL-1.6×250(185)	SS400
水切板	PL-1.6×130	SS400
アンカーボルト	D22 M20 (支柱用)	SD345
アンカーボルト	M8 (水切板用)	—
ボルトナット	M8(2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
有孔板はA, B, Cタイプの中から選択するものとする。  
(有孔板30%)  
支柱アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

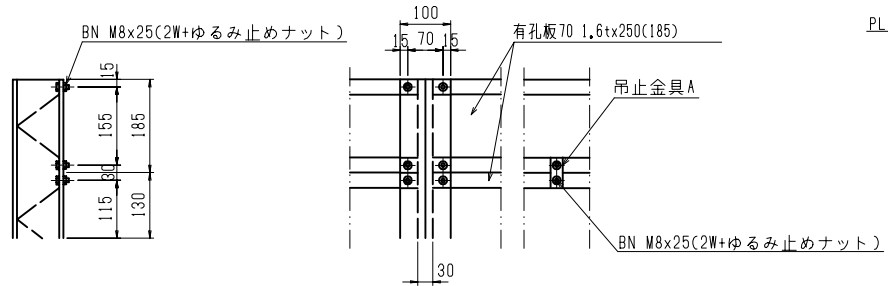
有孔板詳細図



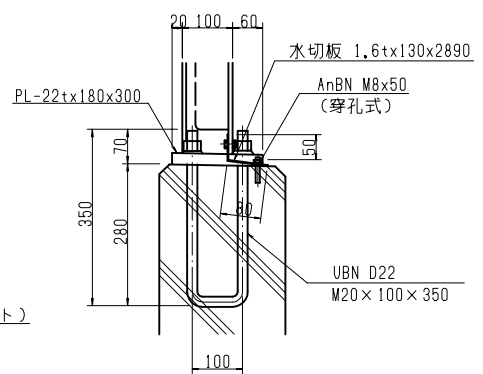
ボルトナット



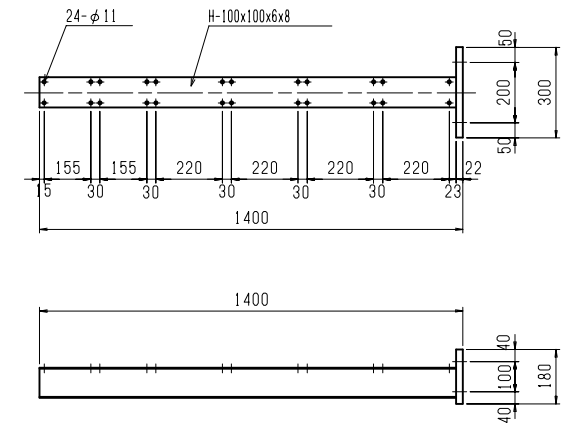
A 取付詳細図



B 取付詳細図



支柱詳細図



\* 剛性防護柵天端で2%勾配による差は丸外・ライナープレートにて調整の事。

一般国道	図面記号	柵 - 飛雪防止柵	H22
	名称	一般国道用飛雪防止柵 - 扉部 (橋梁部)	

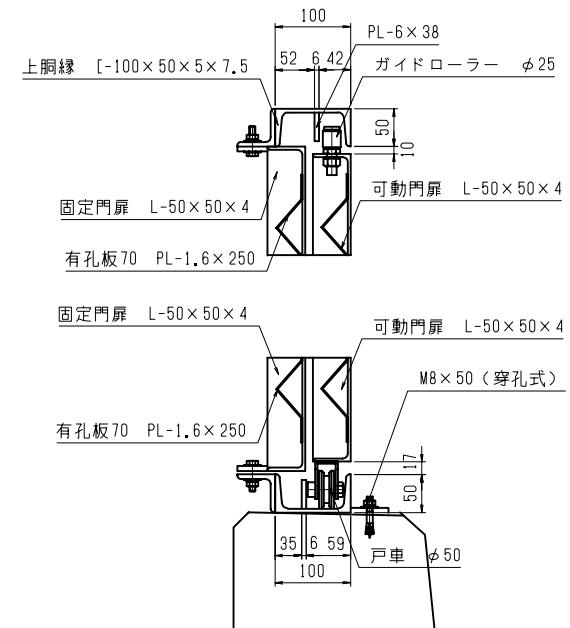
単位 mm

材料表

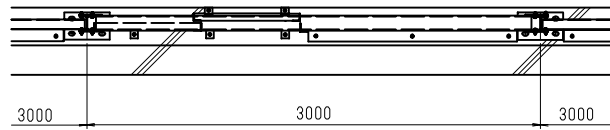
材料	形状	材質
支柱	H-100×100×6×8	SS400
ベースプレート	PL-22×180×300	SS400
有孔板 (70)	PL-1.6×250(185)	SS400
上・下胴縁	L-100×50×5×7	SS400
門扉枠	L-50×50×4	SS400
中間柱	L-50×50×6	SS400
ガイドローラー	φ25	SUS304
戸車	φ50	SUS304
アンカーボルト	D22 M20 (支柱用)	S0345
アンカーボルト	M8 (下胴縁用)	—
ボルトナット	M8(2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3集 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食に準拠すること。  
支柱アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

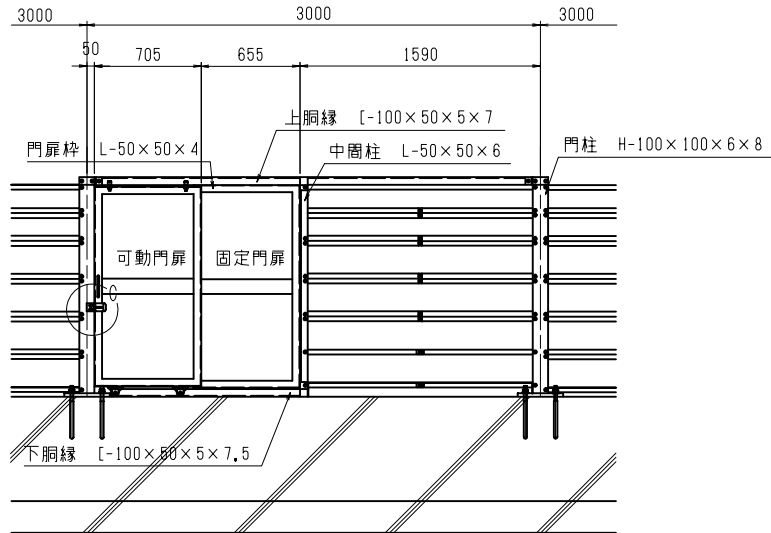
A・B部詳細図 S=1:10



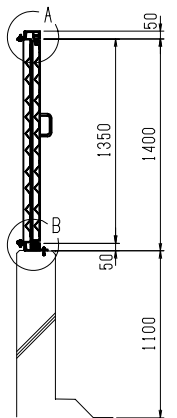
平面図 S=1:50



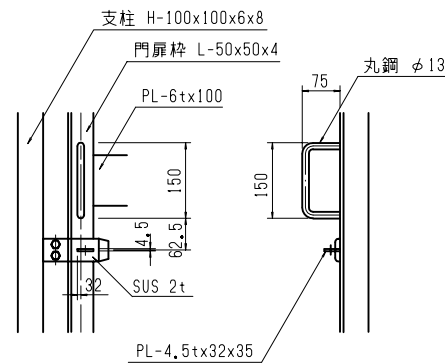
正面図 S=1:50



側面図 S=1:50



C部詳細図 S=1:15



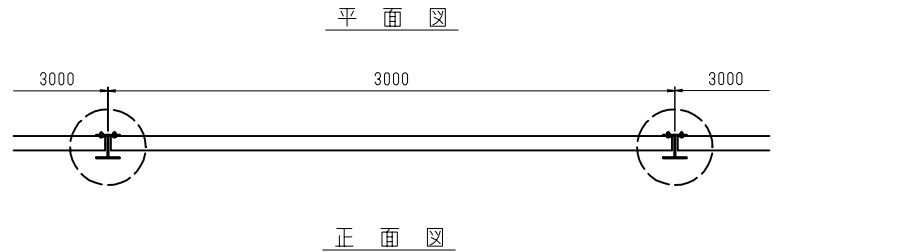
一般国道	図面記号	柵 - 飛雪防止柵	H22
	名称	飛雪防止柵 (土工部, その1)	

材料表 単位 mm

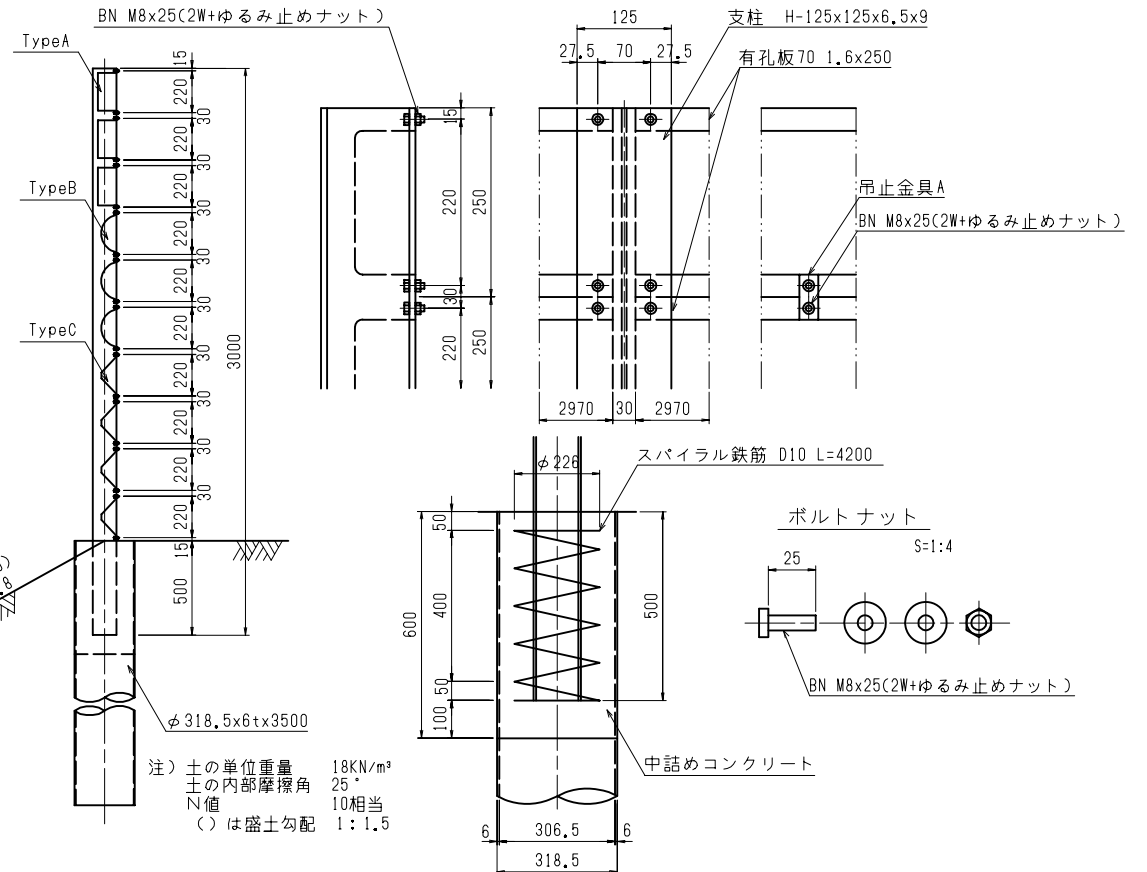
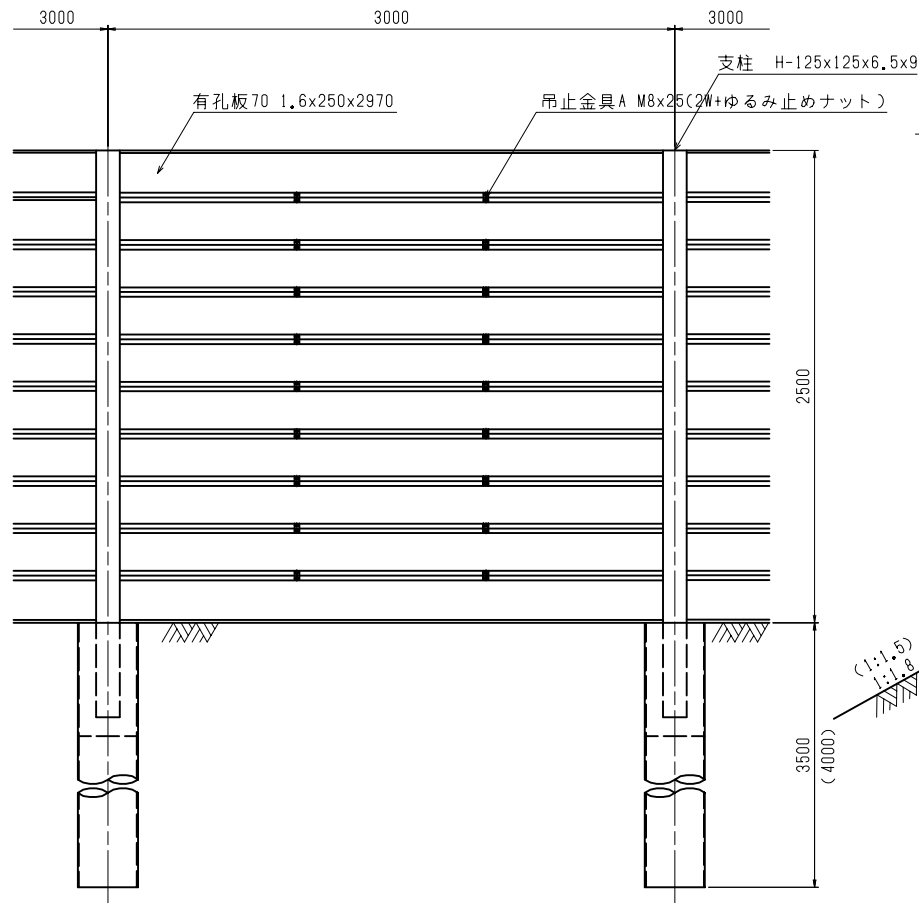
材料	形状	材質
支柱	H125×125×6.5×9	SS400
有孔板 (70)	PL-1.6×250	SS400
ボルトナット	M8×25 (2W+ゆるみ止めナット)	SWR
鋼管杭	φ318.5×6	STK400
スパイラル鉄筋	D10	SD295
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =210kg/cm <sup>2</sup>	

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
有孔板は、A・B・Cタイプの中から選択するものとする。(有孔率30%)

A取付詳細図

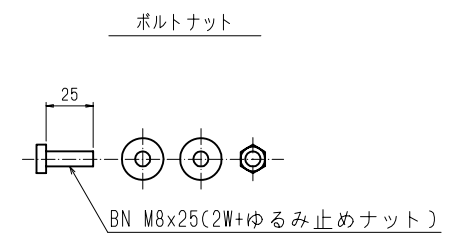
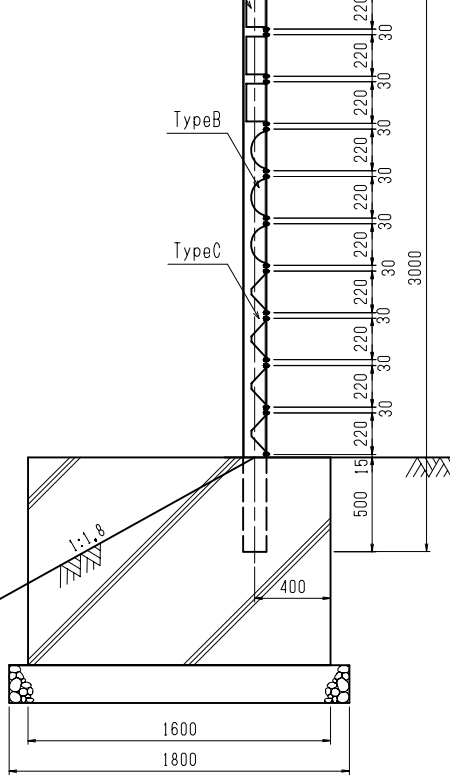
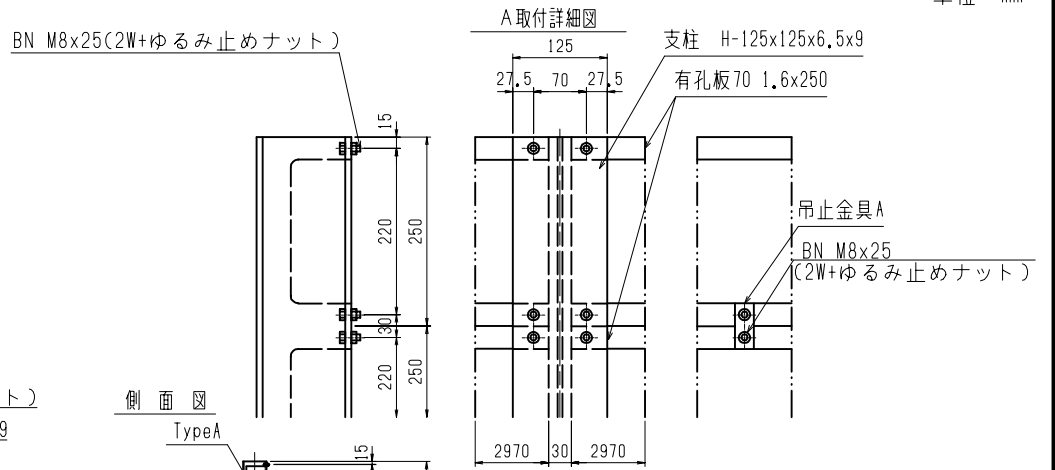
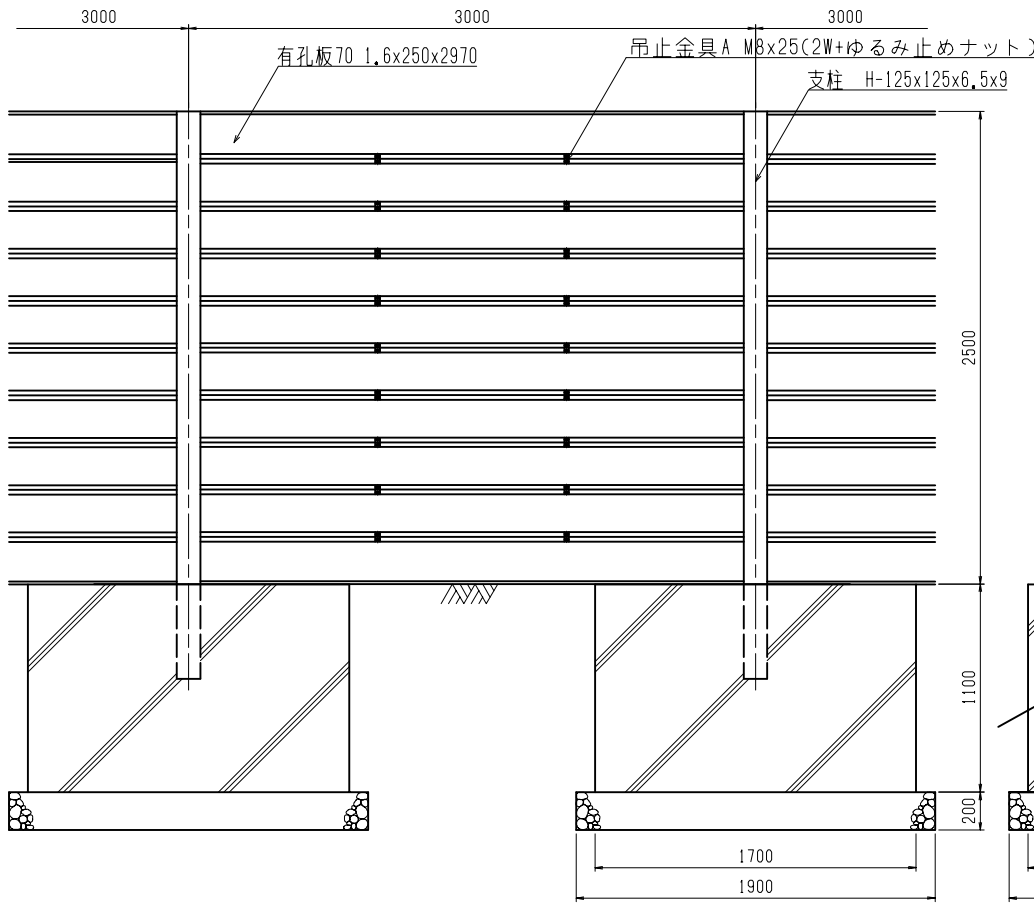
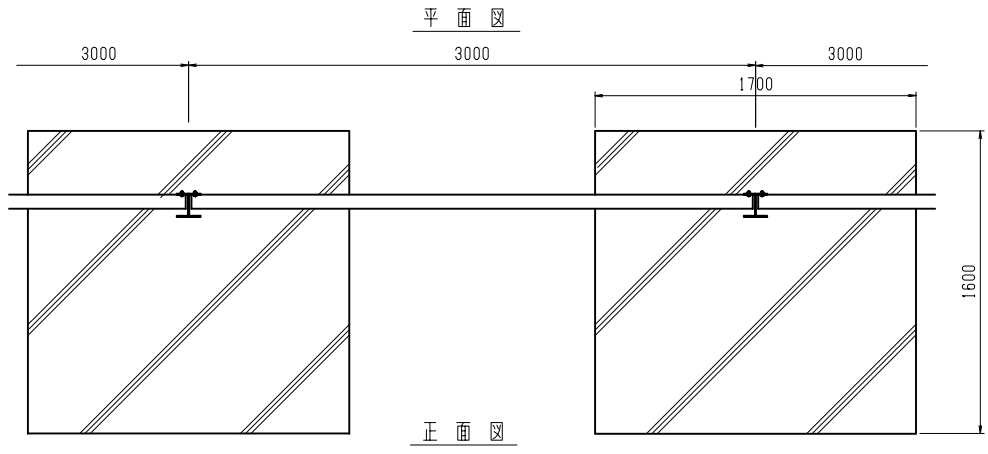


側面図



一般国道	図面記号	柵 - 飛雪防止柵	H22
	名称	飛雪防止柵 (土工部, その2)	

単位 mm



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
 土の内部摩擦角 25°  
 N値 10相当

材料表 単位:mm

材料	形状	材質
支柱	H125×125×6,5×9	SS400
有孔板 (70)	PL-1,6×250	SS400
ボルトナット	M8×25 (2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
 有孔板は、A・B・Cタイプの中から選択するものとする。(有孔率30%)